

基本コンセプトを実現する整備方針

検討委員会①・学校 WS①・地域 WS①・上位計画から、大きく 4 つの視点（学び、生活、地域、安全・環境）で整備方針を整理しました。

また、整備方針を具現化する方策（案）を挙げることでより分かりやすくしました。

方針はあくまでも決定ではなく、議論のためのものです。

検討委員会②の協議の中で、「高野口らしい」整備方針をつくりあげていきましょう。

視点	方針（案）	方策（案）	意見の整理
学び	方針 1：主体的に学ぶ 対話が生まれ 主体的にたくましく未来を創造する 学びのある学校	01『対話が生まれ、自ら考える深い学びをハードからサポートする学校』	・横断的な学び、多目的な学びに対応でき主体性を育む ・主体的、対話的で深い学びを実現する教科コモンズ、プレゼンスペース（発表）メディアスペース（図書）
		02『居場所を選択でき、多様な学びを助長する学校』	・多様な居場所が学校全体にある ・ひとりひとりの学習スタイルに合わせた空間づくり
		03『全体が学びの場になる学校』	・廊下も、階段も、体育館も、校庭もあらゆる空間が学びの場
生活	方針 2：健やかに過ごす 誰もが健やかに過ごせる 居場所となる学校	01『ひとりひとりの顔がみれる学校』	・顔の見える見通しの確保 ・分かりやすい各室構成 ・誰ひとり取り残さないインクルーシブな環境
		02『どんなときでも快適に過ごせる学校』	・季節、天候に左右されない快適な生活環境 ・だれもが安心・安全に過ごせる
		03『全ての人が使いやすいユニバーサルデザインを実現した学校』	・校舎のバリアフリー化やトイレ、衛生設備の充実 ・すべての生徒、教職員、地域の人が使いやすいデザイン
地域	方針 3：地域と育つ 地域に愛され、 地域と共に人を育む 開かれた学校	01『いつでもふらっと立ち寄れる「地域の居場所」のある学校』	・学校と地域が見守り合える関係性を現校舎から引き継いで構築 ・地域の新しい価値となる学校づくり
		02『地域と共に創造的な活動ができる学校』	・地域資源を活用した生徒の学びのきっかけとなる展示スペースの設置 ・地域と共に創造的な活動が展開できる共創空間の設置
		03『豊かな自然や歴史を活かし、魅力を後世につなぐ学校』	・眺望、通風、採光を確保し、まちや自然を感じられる学校 ・世界遺産の玄関口として地域情報を発信し、世界に誇れる学校
安全・環境	方針 4：未来へつなぐ 安全と環境負荷を低減し 持続可能な環境づくりを 実現した学校	01『環境負荷を低減した持続可能な学校』	・効果的な断熱、省エネ設備の導入による環境負荷の低減 ・自然エネルギーを活用し、快適な学習環境を実現
		02『長く使い続けられる学校』	・耐久性の確保 ・フレキシビリティが高く、柔軟な学習環境を実現
		03『防災拠点として地域を守る学校・地域が守る学校』	・災害に強い学校 ・避難所として利用可能な学校づくり
凡例	：検討委員会①・学校 WS①・地域 WS①で出てきた視点のフレーズ ：上位計画で出てきた視点のフレーズ		